

第6学年の実践

令和6年度 おおたの未来づくり【B 地域の創生】

「SDPs(山王ドリームプロジェクト)～提案しよう！理想のまちづくり～」

知る 見つける

①相手意識をもって取り組むための単元設定

自分たちが住んでいる地域について振り返る時間を設ける。その後、地域のよい点や課題点を見出すために地域巡りやアンケートを実施する。また、専門家によるオリエンテーションを行い、まちづくりの考え方や方法について学ぶ機会を設ける。



考える

②「人・もの・こと」と関わり探究する学習の流れの工夫

自分たちの課題に合ったまちを考え、区役所の方へ提案しフィードバックをもらい、さらにより良い提案になるようにグループで試行錯誤しながら、内容を改善できるようにする。区役所や専門家と連携し、見通しをもって学習を進めていけるようにする。



考える

③自他のよさに気付き生かすための話し合いの場の設定

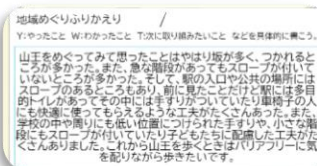
グループで話し合い、思考ツールを活用しながら多様な考え方を学んでいく中で、互いのよさに気付き、提案に取り入れて協働的な学びにつなげていく。また、話し合いの視点を押さえながら自分たちの課題に合った情報を精査できるようにする。



やってみる

④多様な表現や関わりを生み出す ICT の活用

アンケートの調査活動や学習の振り返り、発表用のプレゼンテーションの作成等で、ICT 機器やアプリケーションを活用することで、より主体的、協働的に学ぶことができるようにする。



令和5年度 「わが町山王～未来に続け！商店街プロジェクト～」(学習の流れ)

知る 見つける

商店街を盛り上げるための企画を提案しよう

「おおたの未来づくり」の概要を知る。商店街を見て、話を聞き、自分たちにできることを考え、提案する。

考える

企画を改善しよう

商店街からのフィードバックを受け、企画を試行錯誤しながら改善し、改めて提案していく。

やってみる

企画したことを実践しよう

企画したことを実践し、商店街の方のフィードバックを受ける。実践を振り返り、価値を見いだす。

